

5 本時(6時間目)の学習指導

- (1) 目標 ・複合図形の面積を長方形に分割, 補完, 移動しながら, 公式を用いることよさに気付き, 求めることができる。  
 ・友達の考えた式からその求め方を推測し, 説明し合うことを通して共通点に気付くことができる。

(2) 学習指導過程

学習活動	相	予想される児童の反応	教師の支援等 課題解決能力 見見通し 共感性
<p>1 提示された図形を見て, 学習課題を設定する。</p> <p>2 面積の求め方を考える。                      ・必要な辺の長さを見つけ面積を求める。</p> <p>3 求め方について話し合う。                      (1) 友達の考えを推測して, 説明する。</p> <p>(2) 必要な辺の長さの数や面積の求め方から共通点や相違点を見つける。</p>	<p>つかむ</p> <p>つくる</p> <p>確かめる</p>	<p>階段みたいな形だな。      チョコレートが欠けたみたいだな。</p> <p>欠けたチョコレートの面積を公式を使って比べよう。</p> <p>前に習った長方形に置き換えられないかな。 辺の長さが分かれば解けそう。たくさん辺があるぞ。</p> <p>A      B</p> <p>分けて考える      大きい長方形からひいて考える</p> <p>縦わけ      横わけ      切り抜き</p> <p><math>4 \times 3 + 4 \times 7</math>      <math>3 \times 4 + 4 \times 7</math>      <math>7 \times 7 - 3 \times 3</math></p> <p>分けて考える      大きい長方形からひいて考える      長方形を移動して考える</p> <p>縦わけ      横わけ      切り抜き      移動式</p> <p><math>6 \times 2 + 3 \times 4 + 6 \times 2</math>      <math>3 \times 2 + 3 \times 8 + 3 \times 2</math>      <math>6 \times 8 - 3 \times 4</math>      <math>3 \times (8 + 2 + 2)</math></p> <p>Aのチョコレートの方が大きいな。</p> <p>いくつかの長方形にして考えると求めることができる。公式を使えば簡単に面積が求められる。</p> <p>・形によって簡単な求め方があるそう。      ・他の図形ではどの方法が便利だろう。確かめてみたい。</p>	<p>教師の支援等 課題解決能力 見見通し 共感性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長方形のチョコを練習問題として扱い, 長方形の面積の公式を復習する。</li> <li>・学習課題を児童で設定できるように複合図形を提示する際に, 生活の中の何に見えるか発表し合う。</li> <li>・チョコレートの大きさ比べて児童の関心を高めるようにする。</li> <li>見課題解決に向けて方法を話し合う時間を設定する。</li> <li>・一つの方法で解決できた場合, どうすればよいかを問い, 他の方法を試してみることを活動前に確認しておく。</li> <li>・話し合いをスムーズにし, 次時に生かすことができるように, 求め方に名前をつけておく。</li> <li>共友達の考えをより理解し, 自分の考えに自信をもたせるにペアで説明し合う。初めに式と答えだけを発表し, 次に聞き手の児童が図を用いて説明する。</li> <li>・移動して求めることができる複合図形を提示しているので, できている児童の考えをとり上げる。できていない場合には横わけの考え方から導けないか助言する。</li> <li>・移動式はいろいろな考え方の一つであることを確認するために, 縦の長さが奇数の凹型図形を提示する。</li> </ul> <p>評 複合図形の面積は, 長方形をもとに考えればよいことに気付き, 自分の求めやすい方法で求積することができたか。(ノート・発言)</p>
<p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>ふりかえる</p>		